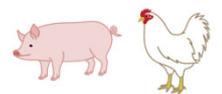




畜産環境対策に係る支援のご案内



畜産環境対策総合支援事業 / 家畜排せつ物処理施設構造転換支援事業

畜産環境対策総合支援事業とは？

肥料の国産化に向けて、堆肥などの国産資源を**肥料として利用するための取組**を支援します。具体的には以下の支援が可能です。

- ・堆肥の高品質化
堆肥の水分調整、発酵、調整等に必要な施設の整備・改修や機械導入等
- ・ペレット化による肥料メーカーへの供給、マッチング体制の構築等
ペレット化設備の導入や、耕畜連携で堆肥活用を推進するマッチング体制づくり等
- ・肥料・肥料原料の成分分析
肥料成分の分析を分析機関へ外注、クロピラリド検査機器の導入等
- ・畜産環境対策の解決
悪臭防止や汚水処理を高いレベルで取り組む場合に必要な施設整備



家畜排せつ物処理施設構造転換支援事業とは？

温室効果ガスの排出が少ない家畜排せつ物処理方法に変更するのに必要な施設の整備・補改修や、一体的に整備する堆肥化処理に必要な機械等の導入を支援します。

畜産環境対策総合支援事業

	支援メニュー	補助	成果目標
①畜産・土づくり 堆肥生産流通 体制支援事業 (ソフトメニュー)	・協議会の開催、堆肥の成分分析、クロピラリド検査体制の構築、堆肥等のマッチング体制の構築等	定額 (※補助上限3千万円) 1/2以内	実施計画と整合性のある定量的な目標及び協議会における堆肥等の生産量又は使用量を増加させる計画を設定
	・堆肥の高品質化、ペレット化、堆肥流通の促進に必要な機械、クロピラリド検査機器の導入 ・堆肥を肥料業者に販売するために必要な経費への助成	1/2以内 15千円/t以内	取組主体における堆肥又は液肥の生産量に占める ・販売量の割合の10ポイント以上の増加 ・肥料業者への販売量の割合の10ポイント以上の増加
②畜産・土づくり 施設等導入支援 事業 (ハードメニュー)	・堆肥(液肥)の高品質化、ペレット化による広域流通等に必要な施設の整備や補改修 ・堆肥を肥料業者に販売するために必要な経費への助成	1/2以内 15千円/t以内	いずれか1つの目標を選択
	・家畜排せつ物等焼却ボイラー施設	1/2以内	取組主体における焼却灰等の生産量を増加させ、全量販売する
③畜産環境関連 施設等導入支援 事業 (ハードメニュー)	・悪臭低減・汚水処理に係る高度な畜産環境対策に必要な施設の整備や補改修 ・臭気測定、水質検査等	1/2以内 定額	・臭気指数の11%以上の低減 ・排水1リットル当たりの硝酸性窒素等の20%以上の低減

家畜排せつ物処理施設構造転換支援事業

	支援メニュー	補助	成果目標
家畜排せつ物処理施設構造転換支援事業	・温室効果ガス排出削減を目的に家畜排せつ物の管理方法の変更を実施するための施設の整備又は補改修に必要な経費	1/2以内	取組主体における家畜排せつ物の管理方法の変更による温室効果ガス排出量の20%以上の低減

畜産環境対策総合支援事業の取組事例

①畜産・土づくり堆肥 生産流通体制支援事業 (ソフトメニュー)

- ニーズに合った堆肥生産をするため成分分析を行い、広域流通がしやすいペレット堆肥の販売に切替える
- 攪拌機とペレットマシンを導入し、鶏ふんペレット堆肥の供給を拡大する



②畜産・土づくり 施設等導入支援事業 (ハードメニュー)

- コンポスト設備を導入し、豚ふん堆肥の供給を拡大する
- 堆肥舎を増設し攪拌機を設置して、好気性発酵で良質の堆肥を生産し、販売量の増加をする



③畜産環境関連 施設等導入支援事業 (ハードメニュー)

- 縦型コンポストの既存脱臭設備に加え、より脱臭効率の高い脱臭設備を増設し、堆肥化に伴う悪臭の低減を図る
- 既存の污水处理施設を膜分離活性汚泥法の施設に補改修し、地域で求められる一般排水基準よりきれいな水質の排水放流に取り組む

家畜排せつ物処理施設構造転換支援事業の取組事例

- 家畜排せつ物の処理方法を、堆肥舎でホイールローダーで切り返しをして堆肥化する「堆積発酵」の方法から、堆肥舎にブローアを整備し通気性を良くしたり、自動攪拌機を導入して発酵を促進して、堆肥化処理にかかる期間を短縮する「強制発酵処理」の方法に変更することで、温室効果ガス排出量を削減する。

<事業イメージ>

実施前

○堆積+切り返し



○貯留



実施後 (※)



○ブローアの整備による堆積+通気

○攪拌機の整備による堆積+攪拌

○コンポストの整備による攪拌

(※) 強制発酵処理へ切り替えることにより、メタン (CH₄) や一酸化二窒素 (N₂O) の発生量を削減。



← 令和8年度事業の要綱・要領、事業計画書様式、Q&A等はこちらから。